

| 令和2年度 第10回 第2部会（協働、健康・福祉） 会議概要 | |
|--------------------------------|--|
| 日 時 | 令和3年3月15日（月） 10:00～10:45 |
| 会 場 | 中央区役所 5階 対策室2 |
| 出席委員 | 渡邊紘一委員、青山委員、大竹委員、飯田委員、田辺委員 |
| 欠席委員 | 渡邊隆幸委員、藤瀬委員、松山委員 |
| 関係課 | 健康福祉課…木伏係長、遠山係長 |
| 事務局 | 地域課…土佐係長、田島副主査、三浦主事 |
| 議 題 | 提案事業サポートの進捗共有について |
| 会議内容 及び 決定事項 等 | <p>○提案事業2件について、担当者打ち合わせの結果共有及び進捗報告を行いました。</p> <p>① 申請者：ピアサポートグループほほえみの木 事業名：交流型障がい者アート展～聴く・見る・遊ぶ～にじいろフェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布先とイベント当日の部会員の支援内容の確認を行いました。 ・当日に向け、担当者は必要に応じて情報共有することとしました。 <p>② 申請者：古町みなと住宅子育て世帯交流会 事業名：古町みなと住宅子育て世帯交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月28日（日）、3月14日（日）に子育てコーチングを実施し、それぞれ8名、7名の参加がありました。参加者からは、「悩みを相談するよい機会となった」「保育サポーターがいるのでコーチングに集中できた」といった感想がありました。 ・また、計3回の交流会を通じて、世帯間での交流が生まれ、当初の目的のコミュニティの構築につなげることができたと申請者から感謝の言葉を頂きました。 |
| 議 題 | 第2部会支援実績まとめについて |
| 会議内容 及び 決定事項 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度、令和2年度における本部会の支援実績を確認しました。 ・感染症拡大による未実施1件を含む合計4件について、実施概要やサポート内容などを振り返り、意見交換を行いました。子どもから親、障がいのある方まで幅広い対象への支援ができ、支援事業の目的を果たすことができたという意見が多くありました。 |

中央区自治協議会 第2部会
＜提案型協働事業 実施報告＞

| | |
|------------|---|
| 申請者（実施主体） | そらいろ子ども食堂（新潟青陵大学生、新潟県立大学生） |
| 事業名 | 子どもたちに元気を配ろう！プロジェクト |
| 実施日 | 令和2年7月26日（日）、7月31日（金）、 8月22日（土）、8月23日（日） |
| 参加者数（延べ人数） | 88人 |
| 協働団体等 | パルシステム新潟ときめき |

＜事業概要及び目的＞

活動拠点である白新コミュニティハウスを会場に、子どもたちへ生活の支援、地域を元気づける活動として、食品配布事業を計画し、地域の活性化や、子どもたちの多世代との交流の機会を提供し、コロナ禍での子どもたちへの生活支援を行う。

また、今回の活動を皮切りに、新しい生活様式に則った地域支援の方法も探りたい。

＜第2部会サポート内容＞

- ① 公共施設へのチラシ配布による広報。
- ② 物品寄付による支援が可能な企業や団体の紹介。
- ③ 感染症拡大防止用品等の経費補助。
- ④ 当日見学等により、所見のフィードバック。

＜事業の成果＞

地場野菜等の配布を行いながら、親子の楽しそうな姿や久しぶりに再会した子どもたちの成長を感じ、主催する学生も元気になれたようだった。部会としてコロナ禍での事業開始を支援することができ、学生たちは感染防止に配慮しながら、新しい形でスタートできた経験をふまえ、現在も継続して事業を実施している。

事業の写真（当日の様子やチラシなど）



中央区自治協議会 第2部会
 <提案型協働事業 実施報告>

| | |
|------------|-------------------------------|
| 申請者（実施主体） | 古町みなと住宅子育て世帯交流会 |
| 事業名 | 古町みなと住宅子育て世帯交流会 |
| 実施日 | 令和3年2月14日（日）、28日（日）、3月14日（日） |
| 参加者数（延べ人数） | 50人 |
| 協働した団体等 | パルシステム新潟ときめき、My hoiku project |

<事業概要及び目的>

新しくできた市営住宅の子育て世帯の交流・情報交換仲間づくりの場をすることで、子育て世帯を中心にコミュニティをつくる。

<第2部会サポート内容>

- ① 企画検討への参画。
- ② 講師との調整及び報償費補助。
- ③ 物品寄付企業・保育サポーターの紹介。
- ④ 当日運営のサポート。

<事業の成果>

企画検討段階において、助言を行い主催者と共にコミュニティを作る場づくりを考える機会となった。参加した子どもたちからは楽しそうな笑顔がみられ、参加した親は、熱心にコーチングに耳を傾け意見交換を行った。またコーチングを通して会話をするなど世帯間での交流がうまれ、コミュニティの構築につなげることができた。

事業の写真（当日の様子やチラシなど）



中央区自治協議会 第2部会
 <提案型協働事業 実施報告>

| | |
|------------|------------------------------|
| 申請者（実施主体） | ピアサポートグループほほえみの木 |
| 事業名 | 交流型障がい者アート展～聴く・見る・遊ぶ～にじいろフェア |
| 実施日 | 令和3年3月27日（土） |
| 参加者数（延べ人数） | 50人（予定） |
| 協働した団体等 | 山六笑点、新潟県障がい者スポーツ協会 |

<事業の概要>

障がい者と障がい者アートや音楽、スポーツ（ボッチャ）を通じて交流することにより、障がい者福祉の理解の向上及び地域活性化を図る。

<第2部会サポート内容>

- ① 企画検討への参画。
- ② 司会及び講師への報償費補助。
- ③ チラシ印刷及び広報の支援。
- ④ 感染症拡大防止用品等の経費補助
- ⑤ 当日運営のサポート。

<事業の成果>

企画検討段階から、運営や広報内容の助言を行い、主催者にとって、感染症対策などコロナ禍でのイベントにおいて必要となる対策の理解や各種団体とのつながりを作る機会となった。

事業の写真（当日の様子やチラシなど）



※事業終了後、当日の様子の写真や参加者の様子など追加予定